

2013年度

地震火山研究センター 年次報告会

プログラム第1部 研究成果発表

- 9:00- 9:05 センター長挨拶
9:05- 9:20 渡辺俊樹:
地震波による地下構造と物性の解明と監視、その現状と展望
9:20- 9:35 松廣健二郎:
横当島へのGPS観測点の設置について
9:35- 9:50 伊藤武男:
スマトラ島北西部のGPS観測網内で発生した2つのM6.1の地震について
9:50-10:05 渡部豪:
南海トラフ沿いの海底地殻変動観測と海溝軸近傍の地殻変動
10:05-10:20 橋本千尋:
数値シミュレーションに基づく地震発生サイクルの再現とシナリオの構築に向けて
10:20-10:35 鹿倉洋介:
南海トラフ沈み込み境界における地震発生サイクルシミュレーションの構築
休憩 -10分-
10:45-11:00 前田裕太:
フィリピン・マヨン火山のVLPイベントから示唆される水蒸気爆発モデル
11:00-11:15 堀川信一郎:
小電力無線機器による間欠同期動作ネットワークの構築
11:15-11:30 寺川寿子:
地震メカニズムトモグラフィー法による間隙流体圧場の時間発展解析法の開発
11:30-11:45 永井 悟:
海底局の推定位置精度と音響走時残差の空間分布との関係性
～海底地殻変動観測における海底ベンチマーク位置推定の精度向上への道筋～
11:45-12:00 古本宗充:
喜界島周辺の地殻変動観測

ポスター発表

- 鷺谷 威:
東北地方太平洋沖地震に対するひずみ集中帯の変形応答
篠島 僚平:
Bending-Unbendingに伴う東北日本に沈み込む太平洋プレート内の応力分布の推定と考察
永井 悟:
海底局の推定位置精度と音響走時残差の空間分布との関係性
～海底地殻変動観測における海底ベンチマーク位置推定の精度向上への道筋～
山岡耕春:
アクロスを用いた桜島火山のモニタリング

プログラム第2部 「地震及び火山噴火予知のための観測研究計画」 の総括と「災害軽減に貢献するための地震火山観測研究計画」

- 14:00-14:30 山岡耕春:
5年間の総括と次期計画の概要
14:30-14:50 田所敬一:
南海トラフ域における巨大地震断層域の力学・変形特性の把握
14:50-15:10 鈴木康弘:
地表地震断層および活断層の地表形状・変位量データにもとづく直下型大地震の規模・頻度予測手法の高度化—LiDAR等の高解像度DEMを用いた検討
15:10-15:30 山中佳子:
古文書を用いた南海トラフ超巨大地震の地震発生メカニズムの解明
15:30-15:50 黒田由彦:
地震・津波災害に対する地域社会の脆弱性測定に基づく
ボトムアップ型コミュニティ防災・減災に関する文理融合的研究
15:50-16:30 古本宗充(司会)
討論

平成26年3月17日(月)

9:00～17:00 レクチャーホール(環境総合館1F)

お問合せ:
名古屋大学大学院環境学研究科
附属地震火山研究センター
TEL: 052-789-3046
<http://www.seis.nagoya-u.ac.jp>

懇親会: 18:00～ 花の木

御嶽山